

## 4 子どもの人権について

### (1) 子どもの人権問題について特に問題だと思うこと

問15 子どもの人権問題について、特に問題があるとあなたが思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

全体では「仲間はずれ」や「無視」、容姿に関する悪口等、身体への直接攻撃や相手がいやがることをしたり、させたりするなどのいじめを行うこと(53.3%)が最も多く、次いで「家族が子どもの世話を放棄したり、家族から虐待を受けること」(46.0%)、となっています。

性別では、男女で特に異なるものはありませんでした。

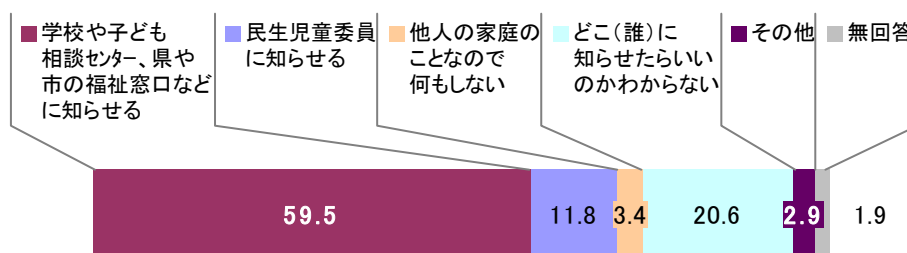
年齢別に見ると、「70歳以上」は1位と2位は全体と同じですが、その比率を下げっており、「特に問題があると思うことはない」「わからない」という回答が、他の年齢層よりも若干多くなっています。

		上段：人/下段：%										
	全体	家族が子どもの世話を放棄したり、家族から虐待を受けること	「仲間はずれ」や「無視」、容姿に関する悪口等、身体への直接攻撃や相手がいやがることをしたり、させたりするなどのいじめを行うこと	学校や教師が体罰やセクシャル・ハラスメントを行うこと	学校や親の選択等に関する見解を無視すること	学校や職業の選択等に関する見解を無視すること	暴力や性的な情報が子どもにとって有害な情報が多くなること	判断する成績や学歴だけで子どもを成績や学歴だけで判断すること	特に問題があると思うことはない	わからない	その他	無回答
合計	1,070	492 46.0	570 53.3	57 5.3	59 5.5	284 26.5	283 26.4	42 3.9	64 6.0	11 1.0	29 2.7	
性別	男性	199 45.0	224 50.7	20 4.5	28 6.3	116 26.2	121 27.4	18 4.1	25 5.7	8 1.8	14 3.2	
	女性	292 46.8	344 55.1	37 5.9	31 5.0	167 26.8	161 25.8	24 3.8	38 6.1	3 0.5	15 2.4	
	無回答	4 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	
年齢層	20歳代	67 54.9	63 51.6	14 11.5	11 9.0	26 21.3	30 24.6	0 0.0	5 4.1	2 1.6	2 1.6	
	30歳代	72 48.6	92 62.2	14 9.5	7 4.7	46 31.1	30 20.3	5 3.4	10 6.8	1 0.7	0 0.0	
	40歳代	77 51.7	100 67.1	6 4.0	9 6.0	44 29.5	38 25.5	1 0.7	2 1.3	3 2.0	2 1.3	
	50歳代	103 54.8	102 54.3	6 3.2	10 5.3	39 20.7	55 29.3	7 3.7	10 5.3	2 1.1	2 1.1	
	60歳代	93 40.8	118 51.8	12 5.3	11 4.8	74 32.5	65 28.5	12 5.3	9 3.9	1 0.4	6 2.6	
	70歳以上	80 34.3	93 39.9	5 2.1	11 4.7	54 23.2	65 27.9	17 7.3	28 12.0	2 0.9	17 7.3	
	無回答	2 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

(2) 児童虐待発見時の対応

問16 もしあなたが児童虐待を発見したとしたら、どうしますか。(○は1つだけ)

児童虐待を発見したときの対応を尋ねたところ、「学校や子ども相談センター、県や市の福祉窓口などに知らせる」(59.5%)が最も多く、次いで「どこ(誰)に知らせたらいいのかわからない」(20.6%)、「民生児童委員に知らせる」(11.8%)と続いています。



対象者 n=1,070人	人数	%
学校や子ども相談センター、県や市の福祉窓口などに知らせる	637	59.5
民生児童委員に知らせる	126	11.8
他人の家庭のことなので何もしない	36	3.4
どこ(誰)に知らせたらいいのかわからない	220	20.6
その他	31	2.9
無回答	20	1.9

**その他意見 (抜粋)**

- ・身近な人に相談する。
- ・警察に通報する。

### (3) 子どもの人権擁護に必要なこと

問17 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だとあなたは思いますか。  
(○は2つまで)

全体では、「地域の人々が他人の子どもに関心をもって接する」(45.5%)が最も多く、次いで「学校教育・生涯学習を通じて子どもの人権を守るための教育を行う」(35.0%)となっています。

性別で見ると、男女では大きな違いはありません。

年齢層で見ると、1位はどの年齢層も全体と同じく「地域の人々が他人の子どもに関心をもって接する」となっていますが、2位については「30歳代」「40歳代」のみ「子どものための相談・支援体制を充実する」となっています。

		上段：人／下段：%										
	全体	子どもの人権を推進するための啓発活動	学校教育・生涯学習を通じた子どもの人権教育を行う	子どものための相談・支援体制を充実する	子どもの個性・自主性を尊重するよう家族関係を築く	児童・青少年の健全な発達を促進する	地域の人々が他人の子どもに関心をもって接する	特に必要だと思うことは	わからない	その他	無回答	
合計	1,070	118 11.0	374 35.0	334 31.2	305 28.5	115 10.7	487 45.5	14 1.3	54 5.0	16 1.5	18 1.7	
性別	男性	58 13.1	157 35.5	141 31.9	111 25.1	47 10.6	191 43.2	11 2.5	21 4.8	13 2.9	6 1.4	
	女性	60 9.6	216 34.6	192 30.8	192 30.8	68 10.9	294 47.1	3 0.5	32 5.1	3 0.5	12 1.9	
	無回答	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	
年齢層	20歳代	10 8.2	44 36.1	37 30.3	42 34.4	12 9.8	55 45.1	0 0.0	7 5.7	6 4.9	0 0.0	
	30歳代	12 8.1	49 33.1	52 35.1	42 28.4	26 17.6	69 46.6	0 0.0	10 6.8	2 1.4	0 0.0	
	40歳代	16 10.7	55 36.9	60 40.3	35 23.5	18 12.1	65 43.6	2 1.3	5 3.4	3 2.0	2 1.3	
	50歳代	22 11.7	68 36.2	60 31.9	47 25.0	15 8.0	97 51.6	3 1.6	8 4.3	3 1.6	1 0.5	
	60歳代	27 11.8	79 34.6	65 28.5	68 29.8	21 9.2	116 50.9	1 0.4	7 3.1	2 0.9	4 1.8	
	70歳以上	31 13.3	79 33.9	59 25.3	70 30.0	23 9.9	84 36.1	8 3.4	17 7.3	0 0.0	11 4.7	
	無回答	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

その他意見  
(抜粋)

・親の教育。